

拓桃スポーツ集作成に当たって

肢体不自由・病弱の児童生徒(特に通常学級や特別支援学級在籍)は、学校体育や体育的行事等において、見学を余儀なくされていることが少なくありません。肢体不自由の児童生徒は、健常児と同じ内容の運動やスポーツができなかったり、また病弱の児童生徒は、医師より生活制限や運動制限が指示されていたりするといった理由があると考えられます。また、共通して肢体不自由児・病弱児に対する体育についての資料や研修が少なかったり、指導者がどう工夫すればよいのか分からなかったりといった部分もあると考えられます。

しかしながら、児童生徒は障害の有無に関わらず、「身体を動かしたい」という欲求があり、その気持ちに答えることが我々教員の責務です。本校に在籍する児童生徒も同様で、その欲求の大きさに気付かれます。「先生、またやろうね。」「次は何をするの?」といった声が聞かれたり、休み時間などには自ら生き生きと身体を動かしたりしている様子が見られます。

学校教育全体において体育は、身体に障害のある児童生徒にとって運動種目の経験の拡大や技術の習得のみならず、体力の向上や健康な生活、安全面に関する知識と理解、協調性や社会参加する力を養うといった役割を担っており、その重要性は年々増してきています。

「拓桃スポーツ集」は、本校で学習する児童生徒はもちろんのこと、肢体不自由児・病弱児をはじめ障害のある児童生徒のために、また肢体不自由児・病弱児が在籍する通常学級の体育の学習にも参考にさせていただくために作成したものです。

このスポーツ集は、本校で考案し、実践してきたスポーツをまとめた「オリジナルスポーツ集平成26年度版」の改訂版です。今回の改訂では、本校が平成27年度に肢・病併置校になったことに伴い、既存の拓桃スポーツ集に掲載してある運動種目で病弱の児童生徒も実践できるもののラベル分け、そして病弱の児童生徒向けの新種目を追加することを中心に行いました。

掲載してあるスポーツがそのまますべての児童生徒に適しているとは思いませんが、本書が肢体不自由児・病弱児のための体育授業作りの手掛かりとなれば幸いです。

このスポーツ集を通して、今後、肢体不自由・病弱の体育科教育に携わっている方々との交流が深まり、意見や情報の交換ができる輪が広がっていくことを切に願ってやみません。

平成30年3月吉日

宮城県立拓桃支援学校 保健体育科